

空間座標について

空間上に3本の軸を設け、それぞれの値を (x_1, x_2, x_3) のように3つ組にすると、**空間座標**となる。例えば点Aの座標が $(2, 3, 4)$ であるとき、右図のような状態である。

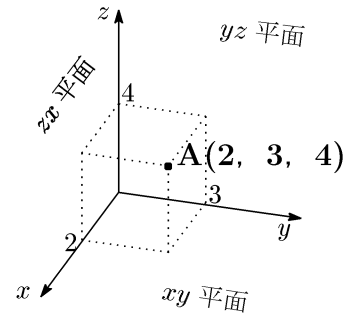
空間座標で表された2点A, B間の距離は、次のように計算すればよい。

● 2点間の距離 ●

原点O, $A(a_1, a_2, a_3)$, $B(b_1, b_2, b_3)$ に対して、

1 $AB = \sqrt{(b_1 - a_1)^2 + (b_2 - a_2)^2 + (b_3 - a_3)^2}$

2 $OA = \sqrt{a_1^2 + a_2^2 + a_3^2}$



問題1 次の2点間の距離を求めよ。

(吉教科書 p.46 問4)

(1) $A(2, 5, 3)$, $B(4, 2, 9)$

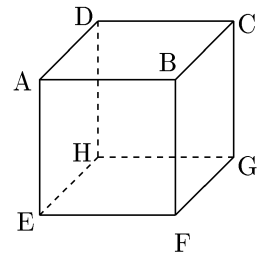
(2) $O(0, 0, 0)$, $(1, -2, 3)$

空間のベクトル

平面上の場合と同様に、空間においてもベクトルが考えられる。空間内の有効線分で、向きと大きさだけを考え位置を問題にしないとき、これを**空間のベクトル**という。

問題2 右の図の立方体において、 \vec{AD} に等しいベクトルをいえ。また、 \vec{HC} に等しいベクトルをいえ。

(吉教科書 p.47 問5)



次のような性質は、平面ベクトルのときと同様に、空間ベクトルにおいても成り立つ。

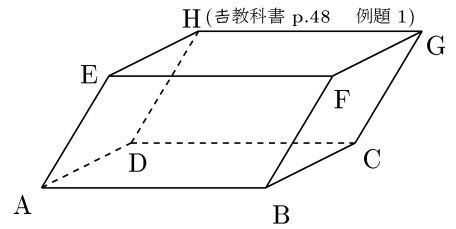
$\vec{BA} = \underline{\hspace{2cm}}$, $\vec{AB} + \vec{BC} = \underline{\hspace{2cm}}$, $\vec{BA} = \vec{OA} - \underline{\hspace{2cm}}$, $\vec{AA} = \underline{\hspace{2cm}}$

2つずつ平行な3組の平面で囲まれた立体を _____ という。

問題3 右の図の平行六面体 ABCD-EFGH について、次の等式が成り立つことを示せ。

(1) $\vec{AB} + \vec{AD} + \vec{AE} = \vec{AG}$

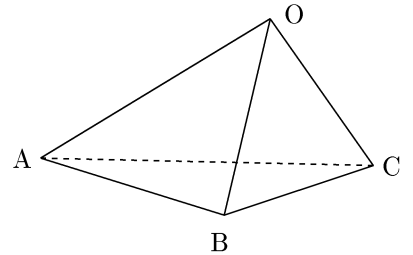
(2) $\vec{AH} + \vec{DB} + \vec{GD} = \vec{0}$



問題4 四面体 OABC について、次の等式が成り立つことを示せ。

(吉教科書 p.48 問7)

$$\vec{OA} + \vec{CB} = \vec{OB} + \vec{CA}$$



$\vec{0}$ でない2つの空間ベクトル \vec{a} , \vec{b} が, _____ 向きか, または _____ 向き のとき \vec{a} と \vec{b} は平行であるといい, $\vec{a} // \vec{b}$ とかく。

$$\vec{a} // \vec{b} \iff \vec{b} = k\vec{a} \text{ となる実数 } k \text{ がある}$$

ベクトルの分解

平面の場合と同様に、どんな空間ベクトル \vec{p} も、 \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} の3方向へ分解することができ、次のように表せる。

$$\vec{p} = l\vec{a} + m\vec{b} + n\vec{c}$$

これを空間ベクトルの分解という。

問題5 右の図の平行六面体において、 $\vec{OA} = \vec{a}$, $\vec{OB} = \vec{b}$, $\vec{OC} = \vec{c}$ とし、線分 CG と線分 EH の交点を N、線分 AH の中点を L とするとき、 \vec{ON} , \vec{OL} を \vec{a} , \vec{b} , \vec{c} を使って表せ。(吉教科書 p.49 問8)

